

第 37 回会合

日時：2020 年 11 月 19 日(木) 午後 17 時半から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者 (順不同・敬称略)：21 名

古田・川谷・先本・武・野坂・中垣・齋木・祝・鈴木・南荘・吉岡・田中・石原・宇野・友廣・栗田・井元・島崎・夏秋・荒武・黒山

<配布資料>

- ① 9 月 17 日打合せ議事要旨 (黒山)
- ② 選奨土木遺産調査 (京都市内編) および付属資料 (阪急大宮駅と大宮・西院間の地下線路、琵琶湖疎水の発電施設群、蹴上発電所、七条大橋、堀川第一橋、賀茂川・鴨川河川構造物群) (南荘)
- ③ 2020 年度大和川沿いの橋梁見学会 (野坂、武)
- ④ 「東小橋小学校いきいき活動 (学童保育)」学校訪問打合せ報告及び今後の進め方 (案) (鈴木)
- ⑤ インフラメンテナンス国民会議関連資料 (2 種類) (中垣)

<主な議事>

資料確認後、古田代表からのあいさつがあり、川谷幹事長から前回議事内容 (資料①) が確認された。主な議事は以下のとおり。

1. 土木学会関西支部地域活動賞受賞について (黒山)
 - 土木学会関西支部地域活動賞を受賞したことが報告された (応募 19 件、受賞 7 件)。
2. 土木学会本部との協議経過について (川谷)
 - 今年度の土木学会会長テーマ「市民との協働」に基づいて、土木学会では市民団体とのパートナーシップ協定 (仮称) を締結することを目指しており、関西支部代表として CVV が選定されたことが川谷幹事長から報告された。また、学会本部塚田専務理事や関西支部まとめ役の京大高橋教授らとの ZOOM 事前打ち合わせを実施したことも併せて報告された。その他の話題提供は以下のとおり (川谷)
 - ・ 土木学会の他支部でのシニア層の活動を知りたいと考え、本部塚田専務に問い合わせたところ北海道支部の特別上級技術者の会を紹介され、先日 ZOOM での会合を持った。(川谷)
 - ・ 北海道支部の会は CVV とは趣が異なる。ただ、ZOOM を使えば CVV 活動を広く紹介することや各団体との交流を図ることが判ったので活用すべきであろう。(古田)
 - ・ 若手技術者が中心に活動している関西支部シビルアカデミーとの意見交換も有益ではないか。(川谷)
 - ・ パートナーシップ協定の内容が不透明で、どのような活動を実施することになるか高橋教授を始め関西支部の関係者と協議が必要では。(黒山)
3. 京都市内の土木遺産調査報告 (南荘)
 - 資料②に基づいて京都市内の土木遺産施設の視察概要、ならびに調査した各施設 (阪急大宮駅と大宮・西院間の地下線路、琵琶湖疎水の発電施設群、七条大橋、堀川第一橋、賀茂川・鴨川河川構造物群) の概要資料が作成担当者から説明された。また、大宮駅については阪急電鉄から借用した建設記録映像が上映された。

- 土木遺産の調査結果の今後の活用方策やホームページでの市民向けの広報については土木学会関西支部選奨土木遺産推薦委員会と協議していきたい。なお、ホームページに当面調査報告として掲載する。(南荘)
 - 主な意見交換は以下のとおり。
 - ・ 選奨土木遺産に関する土木学会の広報は現在貧弱なので今回の調査結果を活用してもらえるよう支部委員会と協議していきたい。(川谷)
→支部委員会で土木遺産データベースを構築中で、すでに認定された施設を優先して一般向け広報を開始する予定。(黒山)
 - ・ 土木学会関西支部 90 周年誌が学会ホームページに PDF でアーカイブ化されているが、その中に選奨土木遺産に関して支部日よりや学会誌に紹介された記事が含まれているので今後の調査に活用してもらいたい。(黒山)
→関西支部ホームページには、立命館で全国大会を開催した際作成された京都・滋賀の土木遺産紹介パンフが掲載されているのみ。(南荘)
→数年前に支部全体の紹介パンフを作成しているはず。自宅にあるので PDF を皆さんに送る。(黒山)
 - ・ 土木遺産を巡る市民向け行事(見学会)を支部主催で実施するよう働きかけたい。(川谷)
→市民向け見学会について、事務局長からは現状が旅行業者を活用した見学会となっていることから、幹事等に提案できるアイデア(見学先、資料等)が求められている。(南荘)
4. 大和川沿いの橋梁踏査について
- 資料③に基づいて大和川沿いの橋梁視察の実施案が紹介された。また、昼食準備や歩行時間などの注意事項等が補足説明された。(野坂・武)
 - 調査報告は担当者を決めて作成してもらいたい。(川谷)
5. 東小橋小学校での支援について(鈴木)
- 資料④に基づいて、これまでの検討経過や先方との協議結果を説明するとともに今後の活動実施計画案(進め方)が説明された。(鈴木)
 - 子供たちが興味を持って聞いてくれる橋の紹介資料(スライド・映像等)が必要では。(石原)
 - 田中氏作成された神戸市土木の学校用の資料(スライド資料)が参考となるのでは。(友廣)
→黒山が所有しているので担当の方々に送付する。
 - 来年夏開催を目指して準備を進めてもらいたい。(川谷)
6. インフラメンテナンス国民会議の活動について(中垣)
- 資料⑤に基づいて、参加したイベントの概要ならびに自身の所感が紹介された。(中垣)
 - 紹介された12月のイベントに参加を希望する場合は事務局に問い合わせいただきたい。(川谷)
7. その他
- 学会に4半期ごとに会計、活動報告が必要であることから12月末までの交通費等の書類は担当までPDFで送付いただきたい。
 - 次回定例会は1月21日(木)17時半から開催する。ただし、感染状況等社会情勢の変化に応じて変更の可能性はある。